

業績および財務データ

業績の概要と分析

平成13年度の連結・単体決算の概要は以下のとおりとなりました。なお、増減の基準となります前年度の計数、および表中の平成12年度の計数は、原則としてさくら銀行・住友銀行両行の計数を合算して表示しております。

連結決算の概要

業績

平成13年度連結決算は、連結子会社144社（国内98社・海外46社）、持分法適用会社38社（国内10社・海外28社）を対象としています。平成12年度に比べ、連結子会社、持分法適用会社はそれぞれ5社、3社減少しました。

平成13年度連結決算は、連結粗利益が前期比2,398億円増加して2兆777億円となりましたが、これに営業経費、貸倒償却引当費用等を加減した経常損益は不良債権処理の増加等による単体の大幅な減益を主な要因として、前期比1兆752億円減少して5,806億円の損失となりました。これに特別損益、法人税等、少数株主利益を加減した当期純損益は前期比5,963億円減少して4,639億円の損失となりました。

また、平成13年度末の預金残高は、前期末比1兆

9,369億円増加して6兆9,860億円となり、貸出金残高は、前期末比1兆8,915億円減少して6兆6,456億円、有価証券残高は、前期末比6兆6,179億円減少して20兆6,946億円となりました。なお、平成13年度より「その他有価証券(含むその他の金銭の信託)」について時価評価を実施しています。すなわち、その他有価証券については時価で連結貸借対照表に計上し、取得価額と時価との差額(評価差額)については損益計算書には反映せず、税効果を勘案したうえで連結貸借対照表の資本の部に「その他有価証券評価差額金」として計上しています。平成13年度末の評価差額は4,993億円、その他有価証券評価差額金は3,048億円となりました。その結果、総資産は平成12年度末比1兆2,377億円減の10兆850億円となりました。

連結子会社・持分法適用会社数

(単位:社)

	平成12年度	平成13年度	増減
連結子会社数	149	144	5
持分法適用会社数	41	38	3

損益の状況

(単位:百万円)

	平成12年度	平成13年度	増減
連結粗利益	1,837,905	2,077,681	239,776
資金利益	1,323,534	1,449,783	126,249
役務取引等利益	316,315	319,532	3,217
特定取引利益	109,036	129,432	20,396
その他業務利益	89,016	178,932	89,916
営業経費	940,889	935,553	5,336
貸倒償却引当費用	992,909	1,703,363	710,454
貸出金償却	814,423	391,923	422,500
個別貸倒引当金繰入額	258,539	681,457	422,918
一般貸倒引当金繰入額	209,539	527,445	736,984
その他	129,484	102,537	26,947
株式等関係損益	468,467	17,808	486,275
持分法による投資損益	44,362	2,964	41,398
その他	77,681	4,547	82,228
経常利益(は経常損失)	494,617	580,628	1,075,245
特別損益	89,102	23,710	65,392
税金等調整前当期純利益(は当期純損失)	405,514	604,338	1,009,852
法人税、住民税及び事業税	65,530	101,860	36,330
法人税等調整額	198,227	289,305	487,532
少数株主利益	9,346	46,993	37,647
当期純利益(は当期純損失)	132,408	463,887	596,295
<参考> 連結業務純益(単位:億円)	8,332	9,919	1,587

(注) 1. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)+(特定取引収益-特定取引費用)+(その他業務収益-その他業務費用)
 2. 連結業務純益=単体業務純益(一般貸倒引当金繰入前)+連結子会社経常利益(臨時要因調整後)+持分法適用会社経常利益×持分割合-内部取引(配当等)

資産・負債・資本勘定

(単位：百万円)

	平成13年3月末	平成14年3月末	増減
資産	119,242,661	108,005,001	11,237,660
うち貸出金	65,537,091	63,645,586	1,891,505
うち有価証券	27,312,498	20,694,632	6,617,866
負債	114,239,104	104,108,534	10,130,570
うち預金	63,049,051	64,985,976	1,936,925
少数株主持分	990,595	983,847	6,748
資本勘定	4,012,960	2,912,619	1,100,341

II 有価証券の評価損益

平成14年3月末の有価証券の評価損益は、平成13年4月比（合併承継処理後対比）8,239億円減少して4,984億円の評価損になりました。このうち、時価会計制度の導入に伴い、当期より適用する資本直入の対象となる「その他有価証券（含むその他の金銭の信託）」の評価損益は、平成13年4月比8,249億円減少して、4,993億円の評価損となりました。

「その他有価証券」の評価損益が大幅に減少したのは、景気低迷状況が持続していることに加え、米国における同時多発テロ事件を契機とする世界経済の先行き不透明感の強まり等を背景に株式相場が軟調に推移したことから、株式評価損益が平成13年4月比6,034億円減少したことが主な要因です。

有価証券の評価損益

(単位：百万円)

	平成13年4月（合併後）			平成14年3月末			
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	平成13年4月（合併後）比	評価益	評価損
満期保有目的	80	49	130	892	972	1,262	370
その他有価証券	329,150	661,071	331,920	495,507	824,657	260,042	755,549
株式	94,089	408,737	314,648	509,305	603,394	192,620	701,926
債券	110,453	113,651	3,195	36,459	73,994	58,810	22,351
その他	124,605	138,680	14,074	22,661	147,266	8,610	31,271
その他の金銭の信託	3,614	811	4,426	3,825	211	135	3,960
合計	325,454	661,931	336,478	498,440	823,894	261,440	759,881
株式	94,089	408,737	314,648	509,305	603,394	192,620	701,926
債券	110,456	113,654	3,196	36,634	73,822	59,303	22,669
その他	120,907	139,538	18,630	25,769	146,676	9,515	35,284

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、並びに「買入金銭債権」中のコマーシャル・ペーパー及び貸付債権信託受益権等も含めております。
 2. 平成14年3月末の株式については主として期末前1カ月の平均時価に、それ以外は期末日の時価に基づいております。
 3. 平成13年4月(合併後)の評価損益には、さくら銀行が保有していた評価損のある「その他有価証券」を、平成13年3月末時価により受け入れた後の計数を記載しております。
 4. 平成14年3月末における「その他有価証券」及び「その他の金銭の信託」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、連結貸借対照表価額と取得原価(又は償却原価)との差額を計上しております。

III 連結自己資本比率

平成14年3月末の連結自己資本比率（国際統一基準）は、10.45%となりました（詳細は131ページの「自己資本比率」をご参照ください）。

自己資本比率の分子となる自己資本は、合併承継処理や

その他有価証券の評価差損をTier1（基本的項目）に計上したことなどのため、7兆608億円となりました。また、分母となるリスク・アセットは、合併承継処理やその他有価証券への時価会計導入等によるオンバランス資産の減少を主因として、67兆5,480億円となりました。

連結自己資本比率の状況(国際統一基準)

(単位：百万円)

	平成13年3月末		平成14年3月末
	さくら銀行	住友銀行	
Tier 1(基本的項目)	2,496,449	2,258,261	3,719,366
Tier 2(補完的項目)	1,351,627	1,995,364	3,504,772
控除項目	13,752	103,632	163,331
自己資本計	3,834,324	4,149,993	7,060,807
リスク・アセット	33,891,414	37,925,221	67,548,012
自己資本比率	11.31%	10.94%	10.45%